



2024.07.17

オンライン講座

精神医学（各論）_7_パーソナリティ症群／摂食症群_4



もりさわメンタルクリニック

<神経性やせ症>

診断基準 (DSM-5-TR) ※一部改変

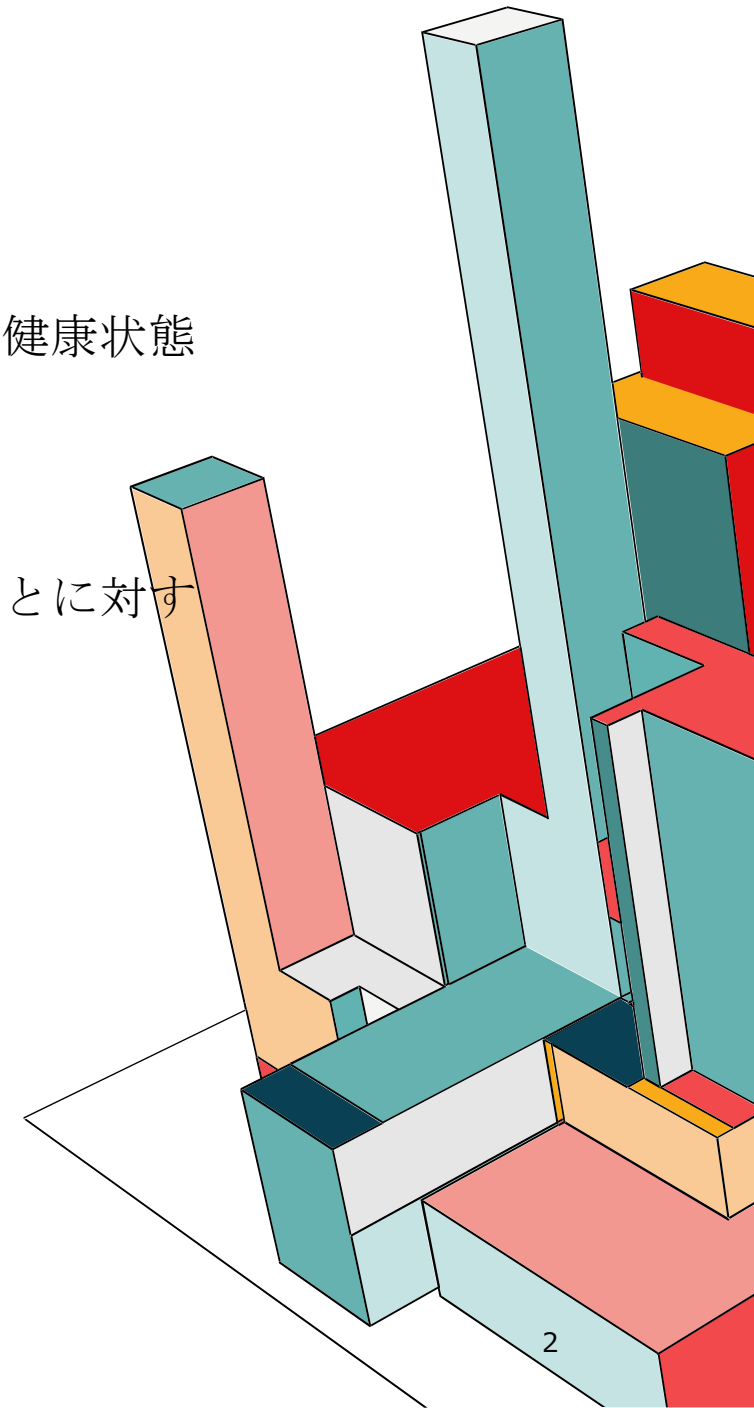
A. 必要量と比べてカロリー摂取を制限し、年齢、性別、成長曲線、身体的健康状態に対する有意に低い体重に至る。

※参考としてBMI : 22の85%以下の体重が使用されることがある。

B. 有意に低い体重であるにもかかわらず、体重増加あるいは肥満になることに対する強い恐怖、または体重増加を妨げる持続した行動がある。

C. 自分の体重または体型の体験の仕方における障害。

※ボディイメージの障害、低体重の重大さの否認



<神経性過食症>

診断基準 (DSM-5-TR) ※一部改変

A. 反復するむちゃ食いエピソード。以下の両方によって特徴づけられる。

- 1) 他とははっきりと区別される時間帯に、明らかに多い食物を食べる。
- 2) そのエピソードの間は、食べることを抑制できないという感覚がある。

B. 体重増加を防ぐための不適切な代償行為の反復（自己誘発性嘔吐、下剤、利尿薬、浣腸、絶食、過剰な運動）

C. むちゃ食い行動と不適切な代償行動が3ヶ月以上、平均週1回以上ある。

D. 自己評価は、体型及び体重の影響を過度に受けている（太ると自己嫌悪、やせると自信回復）

※「むちゃ食い症」との違いは、不適切な代償行為を伴うこと。

